

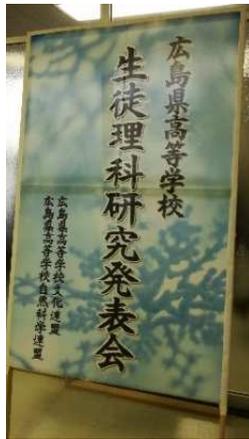
教室掲示
お願いします

SSH 通信

第8号
平成30年12月19日発行
編集：Ⅱ年5組

生徒理科研究発表会

12月15日(土)に広島県立広島産業会館本館で行われた平成30年度広島県高等学校生徒理科研究発表会(オーラル発表)にASコースから2グループが参加しました。この2グループは11月に行われた研究発表会(ポスター発表)において、優秀賞に選出されたため、今回の発表会へ出場することとなりました。前回の発表会から1ヶ月程度と期間は短かったです。それぞれのグループでオーラル発表に向けてしっかりと準備をすすめることができました。



このグループは来年の夏に佐賀(2019さが総文)に行けることになったので、今回の経験もいかしながらさらなる努力をしていきたいと思いをします。



発表題目:水面を浮遊する油滴

今回は準備できる期間が圧倒的に短く、準備にはとても苦労しました。特に大変だったのはこの1ヶ月の間でまた何か新しいことを見つけなければならない、ということでした。前回と全く同じ発表では評価は下がるので、時間をやりくりしながら準備をしました。他校の発表は、前回わかりにくいと指摘されたところを修正してレベルの高いものばかりで、とてもいい勉強になりました。



「靴底のゴムとスキールノイズ」を発表したグループが物理分野の最優秀賞に選ばれ、来年の2019さが総文に出場することになりました。SSH事業で伸長を目指す能力であるSAGAcity(次代の科学技術イノベーションや社会の変化について賢明な判断が下せる高度で多面的な能力)をサガシティ(佐賀市)で発揮できるよう、これからさらに力をつけていきたいと思いをします。



発表題目:靴底のゴムとスキールノイズ

今回の発表会は、附属だけではなく11月のポスター発表会で選出された多くの学校が発表を行うもので、私たちもしっかり準備をしてこのオーラル発表会に臨みました。発表本番では審査員の方が目の前にいて、リアクションを間近に見ながら発表することになり、とても緊張しました。選考の結果、私た



(作成：Ⅱ年5組AS委員)